



田中尚人：熊本大学政策創造研究教育センター 准教授
naotof@kumamoto-u.ac.jp



2016.5.23（土）9:00 地元市民、ボランティア総勢500名が、清掃、砂利あげに参加

長期ビジョン・総合戦略

長期ビジョン

人口問題に対する基本認識 「人口減少時代」の到来

今後の基本的視点

- 3つの基本的視点 ①「東京一極集中」の是正 ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現 ③地域の特性に即した地域課題の解決
- 国民の希望の実現に全力を注ぐことが重要

目指すべき将来の方向 将来にわたって「活力ある日本社会」を維持する

- 若い世代の希望が実現すると、出生率は1.8程度に向上する。
- 人口減少に歯止めがかかると、2060年に1億人程度の人口が確保される。
- 人口構造が「若返る時期」を迎える。
- 「人口の安定化」とともに「生産性の向上」が図られると、2050年代に実質GDP成長率は、1.5～2%程度に維持される。

地方創生がもたらす日本社会の姿

◎地方創生が目指す方向

- 自らの地域資源を活用した、多様な地域社会の形成を目指す。
- 外部との積極的なつながりにより、新たな視点から活性化を図る。
- 地方創生が実現すれば、地方が先行して若返る。
- 東京圏は、世界に開かれた「国際都市」への発展を目指す。

地方創生は、日本の創生であり、地方と東京圏がそれぞれの強みを活かし、日本全体を引っ張っていく

総合戦略

基本的な考え方

- ①人口減少と地域経済縮小の克服
- ②まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻す。

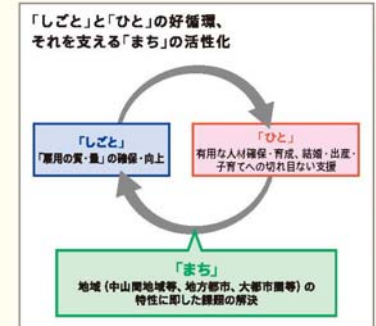
政策の企画・実行に当たっての基本方針

- ①政策5原則
従来の施策（縦割り、全国一律、バラマキ、表面的、短期的）の検証を踏まえ、政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づき施策展開。
- ②国と地方の取組体制とPDCAの整備
国と地方公共団体ともに、5か年の戦略を策定・実行する体制を整え、アウトカム指標を原則としたKPIで検証・改善する仕組みを確立。

今後の施策の方向

- 基本目標① 地方における安定した雇用を創出する
- 基本目標② 地方への新しいひとの流れをつくる
- 基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

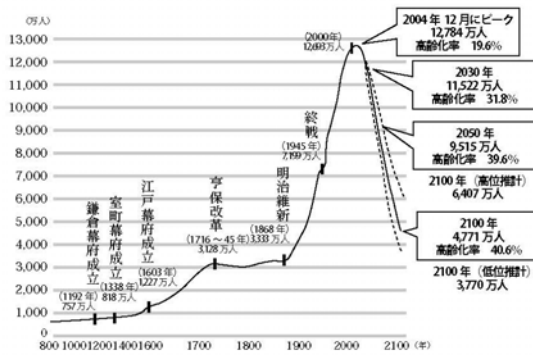
国家戦略特区・社会保障制度・税制・地方財政等



芹沢高志氏 (P3代表)

政策フォーラム2013「私の暮らしを世界とつなごうー未来を変える社会のデザイナー」, 2014.1.30

「物質的に小さくなっていくということは、あまりおそれなくても構いません。ただ想像力が小さくなるのが、本当に壊滅的なことだと思うんです」



芹沢 高志 氏

大南信也氏 (徳島県神山町 NPOグリーンバレー代表)

政策フォーラム2014「きせきのまちプロジェクト」, 2015.3.30

「創造的過疎」「アイデアキラー」「やってみたらえんちゃうん？」
「正しい判断より、早い判断。そして、リカバー」失敗を誇る文化



●非価格価値



創造的過疎 現実を受け止める「小学校をなくさない」



<http://business.nikkeibp.co.jp/article/campanella/20140910/271133/>

選択的移住定住 住みたい、と思えるまち



古民家を改修した、IT企業のサテライトオフィス

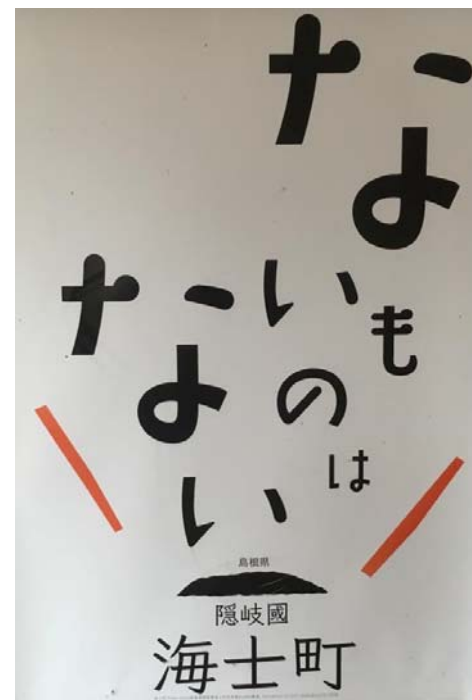
アーティスト イン レジデンス

ここだけにある価値

他のまちにはできないことをやる



Hidden Library



熊本大学政策創造研究教育センター
地域づくり交流会 (2016.3.23)

「地域の未来を担う教育の場づくり
—地域づくりと高校生—」

事前調査：2016.1.17-20

島根県隠岐郡海士町 (あまちょう)
島前高校魅力化プロジェクト

自立・挑戦・交流

政創研 第5回 地域づくり交流会

地域の未来を担う
教育の場づくり
地域づくりと高校生

EDUCATION Region

3月23日(水) 14:00-17:00
熊本大学工学部 百周年記念館
入場無料(申込不要)

お問い合わせ 熊本大学政策創造研究教育センター
Tel.096-342-2044 Fax.096-342-2042
E-Mail. seisoken@kumamoto-u.ac.jp

1. 多文化協働に関する内容
 - ・なぜ、1ターンの島留学生を受け入れることができるのか?
 - ・なぜ、海士町を選んだのか?
2. 都会センス、田舎センスの**バランス**は、なぜ可能なのか?
3. 成功事例ではなく、**挑戦事例**と言いつけることができる危機感の持ち方、または覚悟の持ち方?
4. 島の子と留学生の**化学反応**は、どういう時に起きるのか?
 - ・同じことが、島の人と1人の間でも言えるのか?
5. 島前高校魅力化、海士町の地域づくりに共通して、
何を守り、何を変えたのか?

阿蘇一の宮前町商店街 (阿蘇市)

みんなで話そう、過去から今、これからのこと。

廃校から始める
阿蘇一の宮 未来会議

日時：平成27年2月11日(水・祝)
14:30 受付 15:00 開議 参加無料
場所：旧中通小学校体育館 (阿蘇市一の宮町中通 1521)

「阿蘇一の宮未来会議」宣言
鼎談「ふるさと×商店街」
九州経済産業局 局長 岸本吉生さん / 映画監督 林弘樹さん / 阿蘇はなびし 宮本博史さん
コーディネーター 田中尚人さん (熊本大学政策創造研究教育センター准教授)
円卓会議「阿蘇一の宮について、わたしが話したいこと」



上天草市活性化イメージ (デザイン・井島尚哉さん)
▲行舟船のイメージ (デザイン・井島尚哉さん)
▲行舟船のイメージ (デザイン・井島尚哉さん)
▲行舟船のイメージ (デザイン・井島尚哉さん)



地方創生対談

× 行きたい、
生きたい上天草であるために

上天草市まち・ひと・しごと創生推進協議会委員でデザイナーの井島尚哉さんとコーディネーターに、阿蘇美濃の産地・上天草市観光振興センター副館長の田中麻人さんに宮川市長が対談。上天草市の可能性や課題を掘り起こすべく対談。

井島尚哉さん 阿蘇美濃の産地・上天草市観光振興センター副館長 田中麻人さん 上天草市観光振興センター副館長 宮川市長 上天草市市長

「地域らしさを引き継ぐ」ための地方創生

さまざまな主体が、
変化を恐れずに、
無理せずに（楽しく）
取り組む。

多様性：Diversity
有機的：Dynamism
持続可能：Sustainable

「地方創生」に必要なイノベーションを起こすために
1) 地域の課題解決を考える
2) 地域の長所を活かす
3) お金が回る仕組みをつくる
「楽しい、笑顔になる、元気になる！」ことが大切



▲上天草市まち・ひと・しごと創生推進協議会委員でデザイナーの井島尚哉さん



▲上天草市まち・ひと・しごと創生推進協議会コーディネーターの田中麻人さん

宮川市長 地方創生は、地域らしさを引き継ぐことが大切。上天草市は、阿蘇美濃の産地として、観光振興センターを通じて、地域産業の活性化に取り組んでいる。...